

古典..重要内容をチェック

★係り結びの法則

活用形と訳をチェック

例1 昔、男 あり けり（形）。

例2 昔、男 ぞ あり ける（形）。

例3 昔、男 なむ あり ける（形）。

例4 昔、男 や あり ける（形）。

例5 昔、男 か あり ける（形）。

例6 昔、男 こそ あり けれ（形）。

訳をチエツク

例1 彼ゆかしく思はむ。

例2 我かく言はん。

例3 友達四、五人ばかり、あらし山の花見に行きしことあり。
けふぞさかりならむとおぼゆるほどにて、…

例4 使ひの男、今食はんとするほどに、箸うち立て、はらはら
と涙を落して食はずなりぬるを、…

*暗記の古文単語

ゆかし…心がひかれる↓見たい、聞きたい、知りたい…など

★接続助詞「ば」

訳をチエツク

例1 雨降らば、げにつれづれなり。

例2 雨降れば、げにつれづれなり。

例3 海に行けば、日のぼりたりけり。

例4 ある法師、石清水を拝まざりければ、心うくを覚えて、ただひとり徒歩（かち）よりまうでけり。

*暗記の古文単語

つれづれなり …（することもなく）退屈だ

げに…漢字で「実に」と書いて「げに」↓実に、本当に
心うし…漢字で「心憂し」↓つらい、悲しい、情けない

★助動詞「ぬ」：な、に、ぬ、ぬる、ぬれ、ね
訳をチエツク

例1 つねにはおどろかぬ時に、おどろきぬ。

例2 思ひよらぬ道

★「なば」：助動詞「ぬ」の未然形＋接続助詞「ば」

例 ののしりなば、やがて怒られん。

*暗記の古文単語

ののしる：大声で騒ぐ ×悪口を言う

やがて：（間を置かずに）そのまますぐに、まもなく

活用形と訳をチェック

例1 昔、男 あり けり（終止形）。

昔、男がいた。

例2 昔、男 ぞ あり ける（連体形）。

昔、男がいた。（強調）

例3 昔、男 なむ あり ける（連体形）。

昔、男がいた。（強調）

例4 昔、男 や あり ける（連体形）。

昔、男がいたのか。（疑問）

／昔、男がいたのか、いやいなかった。（反語）

例5 昔、男 か あり ける（連体形）。

昔、男がいたのか。（疑問）

／昔、男がいたのか、いやいなかった。（反語）

例6 昔、男 こそ あり けれ（已然形）。

昔、男がいた。（強調）

訳をチェック

例1 彼ゆかしく思はむ。

彼は見たいと思うだろう。推量

例2 我かく言はん。

私はこのように言おう。意志

例3 友達四、五人ばかり、あらし山の花見に行きしことあり。

けふぞさかりならむとおぼゆるほどにて、…

今日が(花見の)盛りであるだろう(と思われるところで) 推量

例4 使ひの男、今食はんとするほどに、箸うち立て、はらはらと涙を落して食はずなりぬるを、…

使ひの男が、今食べよう(とした時に、箸を立てて、はらはらと涙を落して食べなくなったのを…) 意志

*暗記の古文単語

ゆかし…心がひかれる↓見たい、聞きたい、知りたい…など

★接続助詞「ば」

訳をチェック

例1 雨降らば、げにつれづれなり。

もし雨が降るならば、本当に退屈だ。仮定条件

例2 雨降れば、げにつれづれなり。

雨が降るので、本当に退屈だ。確定条件①ゝので（理由）

例3 海に行けば、日のぼりたりけり。

海に行くと、日がのぼっていた。確定条件②ゝと（偶然そうなる）

例4 ある法師、石清水を拝まざりければ、心うくを覚えて、ただひとり徒歩（かち）よりまうでけり。

ある法師が、石清水八幡宮を拜んでいなかったの、情けなく思っ、ただひとり歩いてお参りに行った。確定条件①

*暗記の古文単語

つれづれなり …（することもなく）退屈だ

げに…漢字で「実に」と書いて「げに」↓実に、本当に
心うし…漢字で「心憂し」↓つらい、悲しい、情けない

★助動詞「ぬ」：な、に、ぬ、ぬる、ぬれ、ね
訳をチェック

例1 つねにはおどろかぬ時に、おどろきぬ。

いつもは目を覚まさない(打消し)時間に、目を覚ました(完了)

例2 思ひよらぬ道

思いよらない道(思いがけない道)

まとめ 未然形＋「ぬ」||くない(打ち消し)

連用形＋「ぬ」||くた(完了)

★「なば」：助動詞「ぬ」の未然形＋接続助詞「ば」

例 ののしりなば、やがて怒られん。

もし大声で騒いだなら、すぐに怒られるだろう。

*「ののしり(連用形)＋な(未然形)＋ば」

「なば」：もしくたなら

*暗記の古文単語

ののしる：大声で騒ぐ ×悪口を言う

やがて：(間を置かずに)そのまますぐに、まもなく